

2025 年 8 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社エーワン精密
代表者名 代表取締役社長 林 哲也
(コード:6156 東証スタンダード市場)
問合せ先 代表取締役社長 林 哲也
(電話 042-363-1039)

特別損失（減損損失）の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 6 月期決算において、下記の通り特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

また、2025 年 2 月 5 日に公表した通期業績予想を修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上の内容

当社の切削工具部門において、受注獲得のために設備投資を実行してきましたが、このところの受注伸び悩みとコスト上昇により収益性が落ちてきたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、446 百万円の特別損失を計上することといたしました。

2. 業績予想の修正について

(1) 2025 年 6 月期通期業績予想数値の修正（2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	1, 670	137	159	86	17.13
今回修正予想 (B)	1, 590	84	119	△221	△44.08
増 減 額 (B - A)	△79	△52	△39	△307	—
増 減 率 (%)	△4.7	△38.2	△24.7	△357.3	—
(参考) 前期実績 (2024 年 6 月期)	1, 601	164	178	120	24.03

2. 修正の理由

営業利益は国内製造業の状況が想定していたほど回復せず、当初予定していた売上高を達成できず利益率が低下しました。

また、切削工具部門の固定資産減損を行ったため、特別損失に「固定資産減損損失」を計上し、当期純損失となりました。切削工具部門の固定資産から生じる将来キャッシュフローを現在価値に戻して、比較を行いました。ここ 2 年ほどの受注鈍化傾向を加味して将来キャッシュフローを割り引いた結果、現有固定資産から生じる収益予想が低下していると判断して、固定資産簿価を減額して固定資産減損失として特別損失を計上することといたしました。最終的に当期純損失 221 百万円となりましたので、前回発表した当期純利益から当期純損失へと修正いたしました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上